

第3期八戸市教育振興基本計画（素案）にかかるポイントについて

1 第1章（教育を取り巻く環境の変化）の内容について

現在の社会情勢をもとに、第2章以降の基本理念と体系、取り組むべき施策の検討につなげるため、下記の項目についての関連データを掲載した。

《項目と掲載データ》

- 予測困難な社会環境・・・物価上昇の状況、平均気温の変化
- 少子化とグローバル化・・・総人口及び区分別人口の推移、児童生徒数の推移、外国人住民数の推移
- DX社会の進展・・・児童生徒の携帯電話・スマートフォンの所持率の推移
- 地域・家庭の状況の変化・・・世帯数と1世帯当たり人口の推移

2 体系の修正

●1回目の策定委員会での案

- ①人材育成、②教育支援、③教育環境整備・・・主に学校教育に関する施策
- ④生涯学習、⑤文化財・・・主に社会教育に関する施策



●修正案

- ①人材育成
- ②支援
- ③学校の環境整備
- ④地域の教育力
- ⑤文化財

学校教育と社会教育を分けて考えるのではなく、最終的に学校と地域が連携した教育を推進するという考え方のもと、段階的に関わる範囲を広げた施策とする。(個⇒学校⇒地域)

3 事業一覧について

市の関係計画等を参照し、関連事業を一覧に追加